

# 令和7年度中学生チャレンジテスト(1年生)・大阪市版チャレンジテストplusの結果概要

大阪市教育委員会

- 調査実施日  
・令和8年1月14日(水)
- 学力に関する調査  
・中学校1年:国語、数学、英語、社会、理科
- 実施校数  
・中学校1年:130(467)校
- 調査対象  
・中学校1年
- 学習状況に関する調査  
・生徒アンケート
- 実施生徒数  
・中学校1年:14,978(56,136)人

【中学生チャレンジテスト】  
・平均点、無解答率で表記しています。  
( )内の数字は大阪府の結果です。  
・ヒストグラムは5点ごとに区切った得点  
ごとの生徒の割合を示しています。

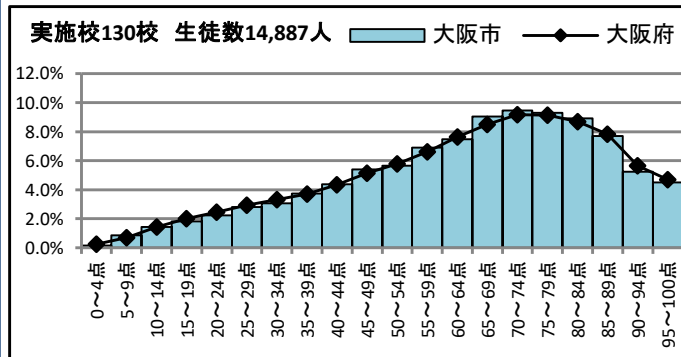
【大阪市版チャレンジテストplus】  
・社会・理科にて実施しています。  
(理科は各学校の学習進度等に応じて「Aコース」「Bコース」から選択して実施しています。)  
・平均正答率、無解答率で表記しています。  
(理科は大阪市の平均正答率、無解答率及び参考として各コースごとの平均正答率、無解答率を表記しています。)  
・ヒストグラムは10%ごとに区切った平均正答率ごとの生徒の割合を  
示しています。大阪市のみの調査のため、大阪府のデータは入って  
いません。

・集計値／グラフは、1月14日に調査実施した生徒を対象として集計した値である。

## 中学校1年【国語】

平均点  
63.3(63.1)点

無解答率  
9.1(10.2)%



良好  
□語順や修飾と被修飾の関係について理解すること  
□文章の内容をとらえ、筆者の考えを理解すること

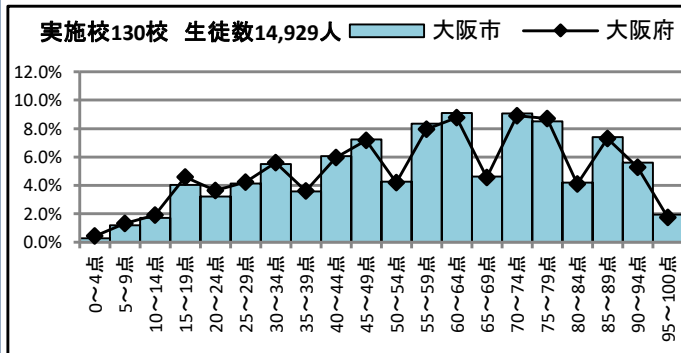
課題  
■資料を用いて自分の考えがわかりやすく伝えるように  
表現を工夫すること  
■場面の展開や登場人物の描写に注意して読み、内容  
の理解に役立てること

【これからの学習に向けたアドバイス】  
★自分の考えを表現する際は、伝えたい内容が適切に  
伝わるように文章の構成を考えましょう。その際、要点  
や根拠が明らかになっているかを確認しましょう。  
★現代語訳や語注にも着目しながら文章を読み、登場  
人物の心情の変化に沿って文章の流れを捉えましょう。  
様々な作品を読んで、考えたことなどを記録したり、  
伝え合ったりしましょう。

## 中学校1年【数学】

平均点  
57.6(56.7)点

無解答率  
7.6(8.8)%



良好  
□負の数の計算を理解していること  
□垂線の基本的な作図の方法を理解していること

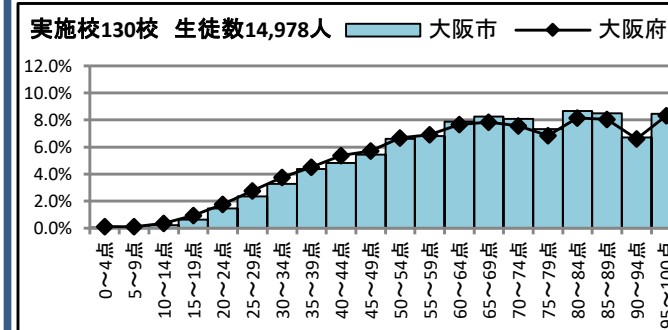
課題  
■数量やその関係についての变化を捉え、文字を用いた  
式で表し、数学的な表現を用いて説明すること  
■グラフから情報を読み取り、その意味を理解し説明する  
こと

【これからの学習に向けたアドバイス】  
★一列に並べる規則性の問題では、n並べると、重なりや  
増加分等の数は(n-1)になることに着目しましょう。  
また、数学的な表現を用いて説明できるようにしましょう。  
★X軸とY軸に着目し、グラフから読み取れる内容から考察  
する力を養いましょう。

## 中学校1年【英語】

平均点  
66.5(65.2)点

無解答率  
4.1(4.9)%



良好  
□短いやり取りを聞いて話し手の意向を正確に理解すること  
□日常的话题についてのやり取りや紹介文を聞いたり読ん  
だりして話の概要を捉え、要点を適切に把握すること

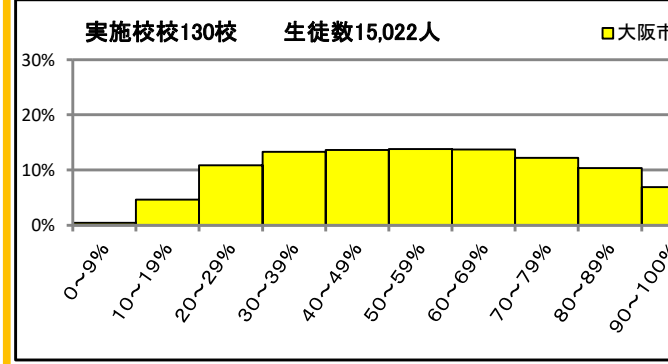
課題  
■指示された用件を踏まえ、文法や語彙の知識を活用し、  
英文を書くこと  
■日常的话题についてのまとまりのあるEメールでのやり  
取りを読み、話の概要を捉え、要点を適切に把握すること

【これからの学習に向けたアドバイス】  
★習った文法や語彙を目的や場面に合わせて活用できるよう、  
例文を自分のことに書き換えて書くなどし、自分の考えを英語  
で発信する練習を重ねて、知識を表現につなげましょう。  
★問題文の目的や場面、状況を意識して、話の流れをつかむ  
練習をしましょう。また、要点の手がかりとなる語句や表現に  
着目し、情報を整理しながら読みましょう。

## 大阪市版チャレンジテストplus 中学校1年【社会】

平均正答率  
58.3%

無解答率  
3.0%



良好  
□中国の経済格差について考察すること(地理)  
□藤原氏による摂関政治について、資料をもとに考察し、  
表現すること(歴史)

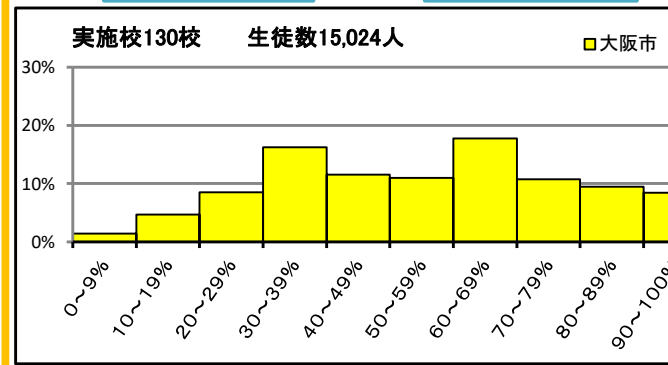
課題  
■面積を正しく表した地図の特徴について理解すること(地理)  
■日本と東アジアとのかかわりについての理解をもとに、  
複数の地図を読み取ること(歴史)

【これからの学習に向けたアドバイス】  
★世界地図は地球儀と違い、距離や面積、形、方位を一度に  
正しく表すことができないので、それぞれの特徴を理解し、  
目的に応じて使い分けられるようにしましょう。  
★古代までの日本の歴史について、東アジアとの関わり  
に着目して、地図などの資料を用いて考察するようにしま  
しょう。

## 大阪市版チャレンジテストplus 中学校1年【理科】

平均正答率  
63.0%  
Aコース (参考)54.9%  
Bコース (参考)66.2%

無解答率  
3.7%  
Aコース (参考)3.7%  
Bコース (参考)3.6%



良好  
□示された資料に書いてある情報を基に、生物を特徴で  
分類すること  
□葉脈や根の特徴から、ホウレンソウがアブラナと同じ  
なかまであることを説明すること

課題  
■てこがつり合っているときに片方にはたらく力と、物体の  
質量を求めること  
■水溶液からより多くのミョウバンの結晶を得る方法を説明  
すること

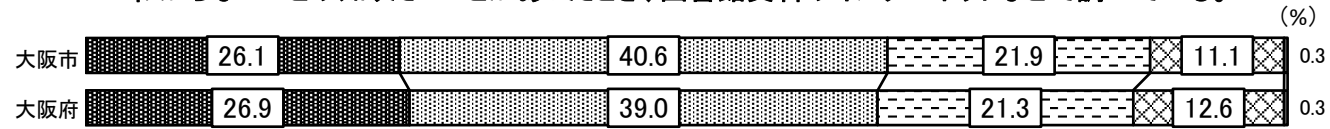
【これからの学習に向けたアドバイス】  
★「てこのきまり」のように、問題文中に示されている内容や  
すでに学習している内容と、出題の条件をそれぞれ整理  
して考えるようにしましょう。  
★実験の結果から溶解度と再結晶についての規則性を見い  
だし、より多くの結晶を得るといった目的を達成するために、  
見通しをもった実験計画を考えるようにしましょう。

## 1年生におけるアンケート結果

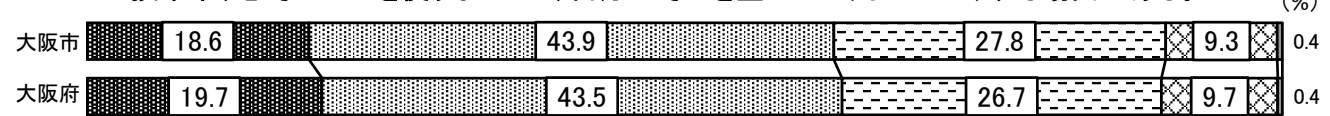
1. 文章や資料などを読むときに、どこが大事なところかを考えながら読んでいる。



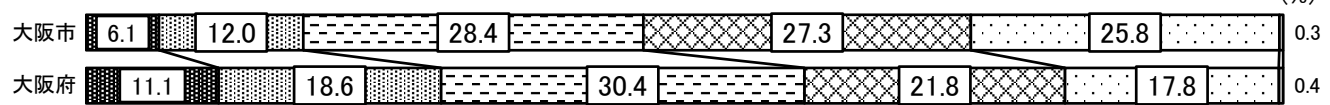
2. わからないことや知りたいことがあったとき、図書館資料やインターネットなどで調べている。



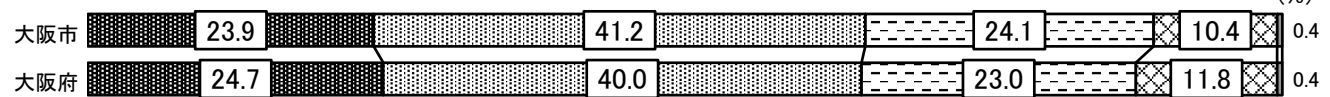
3. 授業中、思考ツールを使うなどして、自分の考えを整理したりまとめたりする場面がある。



4. 授業中、PC・タブレットを使って、学級の友だちと意見を交換する場面はどれくらいありますか。



5. 家で、自分の苦手なところ、必要なところを考えて勉強している。



6. あなたの学級は、違った考えや意見を受け入れる雰囲気がある。



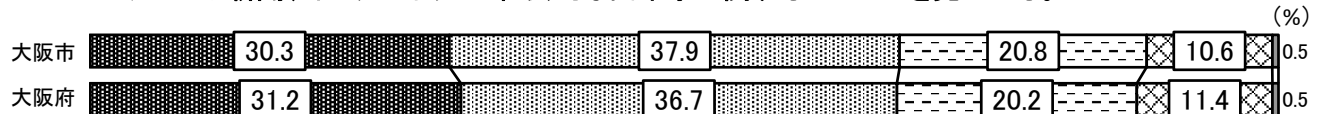
7. 学校などで、他の人と協力し合うことができる。



8. 難しいことがあっても、あきらめない。



9. テレビや新聞、インターネットで社会的な出来事に関するニュースを見ている。



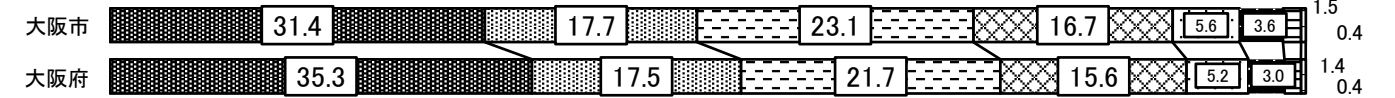
1~3、5~9 ■当てはまる □どちらかといえば、当てはまる □どちらかといえば、当てはまらない □当てはまらない □その他・無回答  
4 ■ほぼ毎日 □週3回以上 □週1回以上 □月1回以上 □月1回より少ない □その他・無回答

■今回お知らせする調査結果は、学力や学習状況の一部分であり、子どもたちの学力や学習状況、学校の教育活動などのすべてを表すものではありません。

10. 普段(月曜日から日曜日)、1日平均どれくらいの時間、本(教科書は除く)を読みますか。



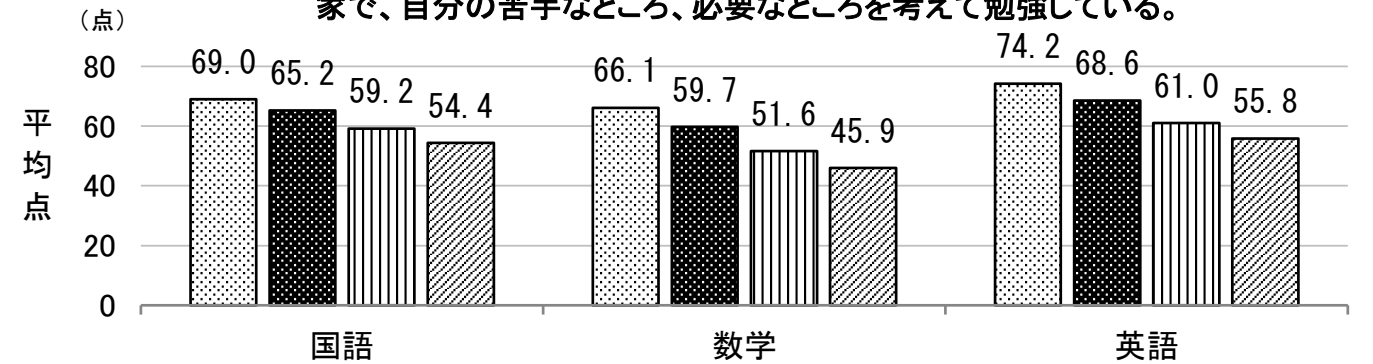
11. 普段(月曜日から日曜日)、1日平均どれくらいの時間、学習以外(ゲームやSNSなど)にスマートフォンやタブレットを使っていますか。



10 ■2時間以上 □1時間以上、2時間より少ない □30分以上、1時間より少ない □10分以上、30分より少ない □10分より少ない ■全くない □その他・無回答  
11 ■4時間以上 □3時間以上、4時間より少ない □2時間以上、3時間より少ない □1時間以上、2時間より少ない □30分以上、1時間より少ない ■30分より少ない □スマートフォンやタブレットを持っていない □その他・無回答

## 教科の平均点と生徒アンケートのクロス集計結果

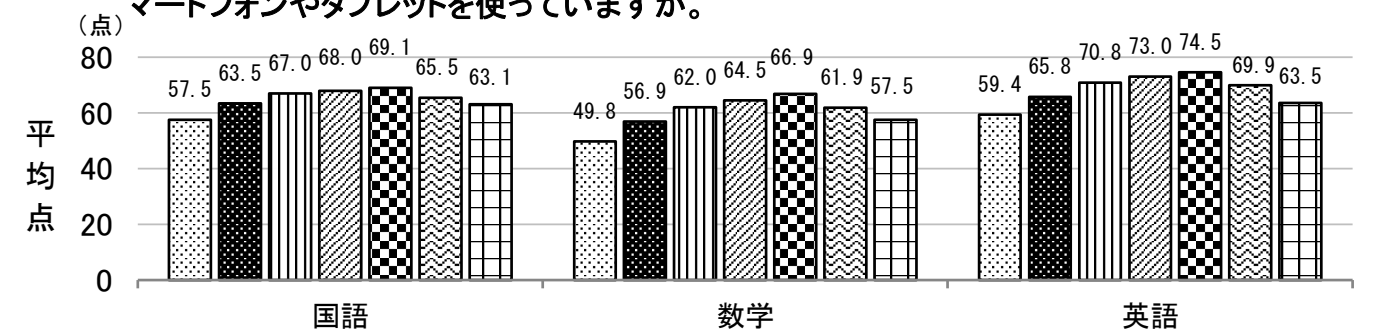
家で、自分の苦手なところ、必要なところを考えて勉強している。



□1 当てはまる ■2 どちらかといえば、当てはまる □3 どちらかといえば、当てはまらない □4 当てはまらない

家で、自分の苦手なところ、必要なところを考えて勉強している生徒の方が、教科の平均点が高い傾向が見られます。

普段(月曜日から日曜日)、1日平均どれくらいの時間、学習以外(ゲームやSNSなど)にスマートフォンやタブレットを使っていますか。



□1 4時間以上 □2 3時間以上、4時間より少ない □3 2時間以上、3時間より少ない □4 1時間以上、2時間より少ない □5 30分以上、1時間より少ない □6 30分より少ない □7 スマートフォンやタブレットを持っていない

「30分以上、1時間より少ない」と回答している生徒の教科の平均点が、最も高い傾向が見られます。

■本調査の結果とともに学習に役立つ情報については、大阪府教育庁 市町村教育室 小中学校課のWebページにおいてもお知らせしていますので、ご活用ください。  
<https://www.pref.osaka.lg.jp/o180080/shochugakko/challenge/index.html>



# 令和7年度中学生チャレンジテスト(2年生)の結果概要

大阪市教育局

- 調査実施日  
・令和8年1月14日(水)
- 学力に関する調査  
・中学校2年:国語、数学、英語、社会(A・B)、理科
- 実施校数  
・中学校2年:130(469)校
- 調査対象  
・中学校2年
- 学習状況に関する調査  
・生徒アンケート
- 実施生徒数  
・中学校2年:14,837(56,174)人

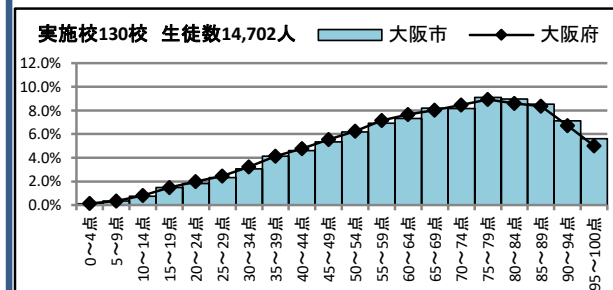
【中学生チャレンジテスト】  
・平均点、無解答率で表記しています。( )内の数字は大阪府の結果です。  
・ヒストグラムは5点ごとに区切った得点ごとの生徒の割合を示しています。

・集計値/グラフは、1月14日に調査実施した生徒を対象として集計した値である。

## 中学校2年【国語】

平均点  
65.2(64.5)点

無解答率  
6.6(7.3)%



良好  
□文脈の中における語句の意味を的確にとらえること  
□案内文とポスターに必要な項目を理解して書くこと

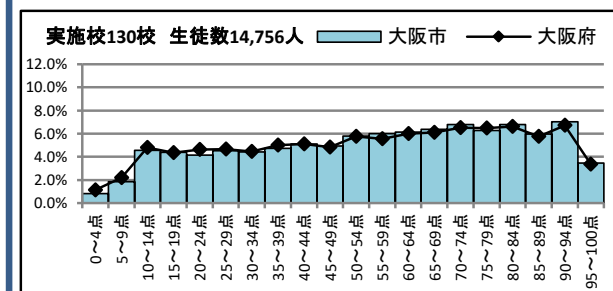
課題  
■場面の展開や登場人物の描写に注意して読み、内容の理解に役立てること  
■伝えたい事柄が相手に効果的に伝わるように書くこと

【これからの学習に向けたアドバイス】  
★現代語訳や語注、古典について解説した文章などを手掛かりに作品を読むことを通して、古典に表れたものの見方や考え方に親みましょう。  
★伝えたい内容が適切に伝わるように、要点や根拠を明確にし、自分なりの言葉で考えを書きましょう。

## 中学校2年【数学】

平均点  
56.0(55.0)点

無解答率  
10.3(11.7)%



良好  
□多角形の内角・外角の意味と三角形の合同条件を理解していること  
□具体的な事象における数量の関係を捉え、連立二元一次方程式に表すこと

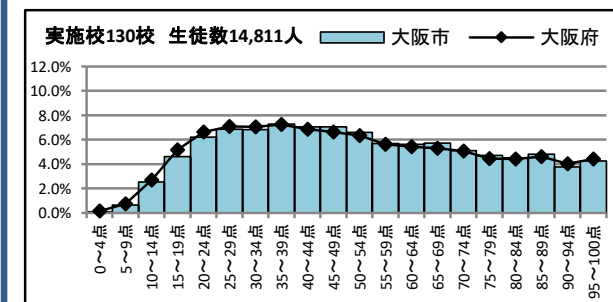
課題  
■証明の意味を理解していること  
■事柄が成り立つ理由を文字を用いた式を用いて説明すること

【これからの学習に向けたアドバイス】  
★観察や操作を、実験などの活動によって導かれたものと証明によって導かれたものとの違いを理解することを通して、証明の大切さを学びましょう。  
★整数を表す文字nを用いて説明する問題では、条件を踏まえて、見通しを立て、数学的な表現を用いて表すようにしましょう。

## 中学校2年【英語】

平均点  
52.4(51.8)点

無解答率  
6.9(7.6)%



良好  
□短いやり取りを聞いて話し手の意向を正確に理解すること  
□語や文法事項等を理解して、正しい文を書くこと

課題  
■日常的な話題についてのスピーチ原稿を読み、話の概要を捉え要点を適切に把握すること  
■会話文を読み、やり取りの場面を理解したうえで、文法や語彙の知識を活用して流れに合う英文を書くこと

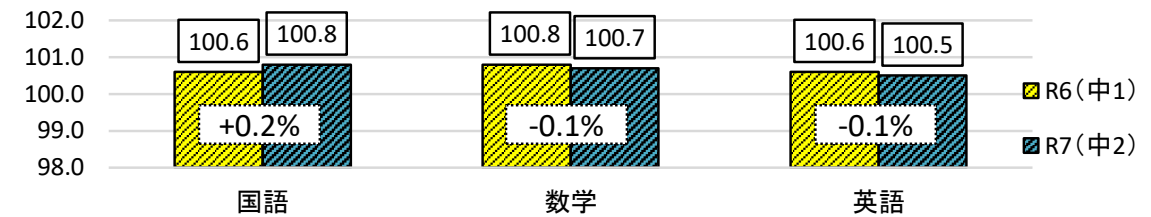
【これからの学習に向けたアドバイス】  
★接続詞や代名詞に着目し、文と文のつながりを意識して読みましょう。また、文章全体の構成を把握し、含まれる情報から最も重要な点を判断して要点を整理し、捉える練習をしましょう。  
★会話文の目的や場面、状況を捉え、文脈に合った適切な語彙や表現を選ぶ習慣をつけましょう。また、習った文法事項を実際のやり取りの中で繰り返し使い、知識を表現につなげましょう。

## 標準化得点を活用した経年分析

※標準化得点は年度間の相対的な比較ができるよう、大阪府平均を100として統計的に計算したものです。  
※令和6年度と令和7年度で、個々の生徒の対応のあるデータにより分析したものです。  
※内数値は変化率を示しています。

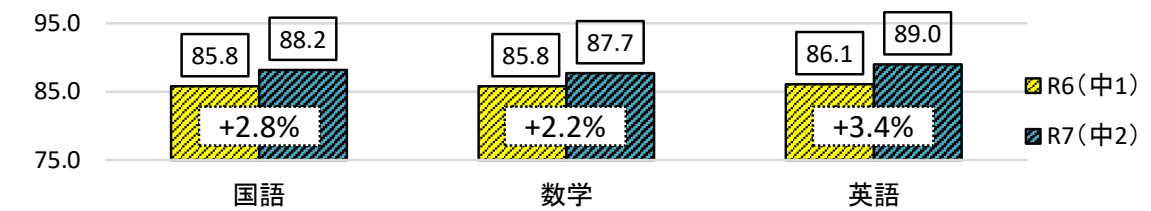
【大阪市全体の経年分析】

□「国語」の成績が向上していることが統計的に示されています。



【学力に課題の見られる生徒(区分Ⅳ)の経年分析】

□「国語・数学・英語」ともに、成績が向上していることが統計的に示されています。

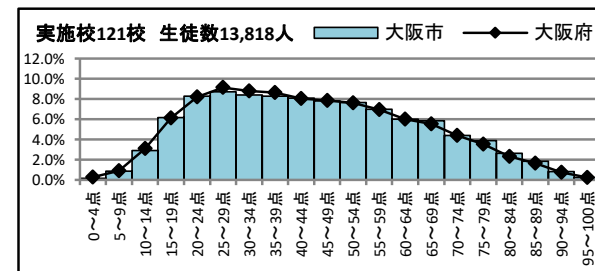


※大阪府の生徒全員の得点分布の状況から高い順に概ね25%になるように区切り、区分Ⅰ、区分Ⅱ、区分Ⅲ、区分Ⅳの4つに分け、分析しました。なお、得点と同じ場合は上位の区分に含んでいます。

## 中学校2年【社会A】

平均点  
45.0(44.3)点

無解答率  
5.6(6.3)%



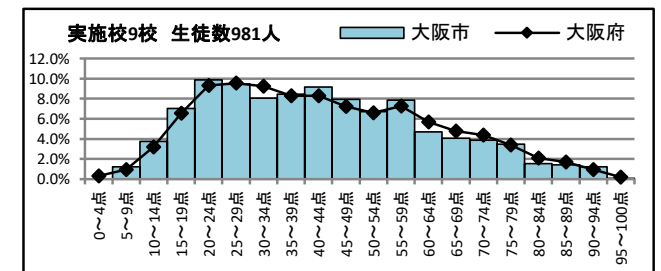
良好  
□第1～3次産業の分類について理解すること(地理)  
□化政文化が栄えた時期の浮世絵について理解すること(歴史)

【これからの学習に向けたアドバイス】  
★地域の特色を生かした取組の共通性に着目し、他地域の課題の考察にも活用するようにしましょう。  
★鎖国に関するできごとについて、そのつながりや意義を説明できるようにしましょう。

## 中学校2年【社会B】

平均点  
42.6(43.5)点

無解答率  
6.1(6.4)%

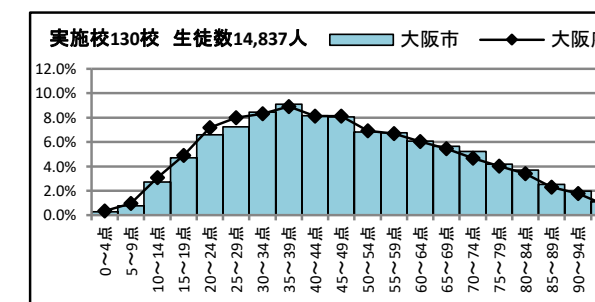


課題  
■地域ブランドについて理解すること(地理)  
■江戸幕府による鎖国に関するできごとの推移を考察すること(歴史)

## 中学校2年【理科】

平均点  
47.9(46.7)点

無解答率  
4.2(5.0)%



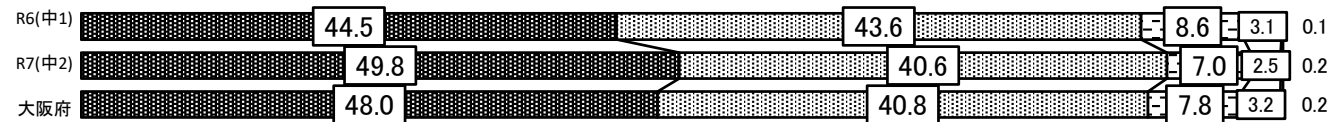
良好  
□酸素と金属の性質について理解すること  
□心臓が全身の血液量を送り出すまでにかかる時間について考えること

課題  
■発熱反応について理解すること  
■仮説を立てて行った実験の結果がどのようになるかを考えること

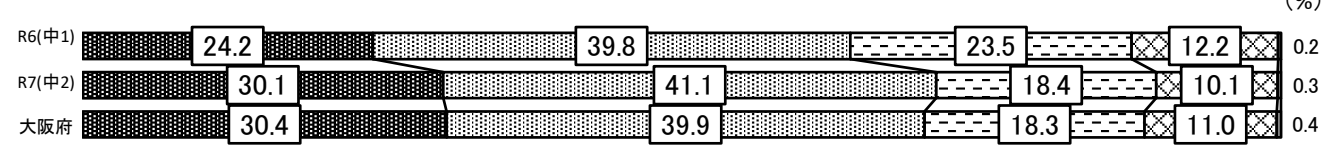
【これからの学習に向けたアドバイス】  
★用語などの基礎的な知識は身に付いているので、その知識をもとに科学的に探究し、化学変化によって起こる現象について、仕組みや働きなどと関連付けて考えましょう。  
★実験操作とその結果について整理し、実験の条件を変更することによって結果がどのように変わるのかを、科学的な根拠をもとに仮説を立て、自分の言葉で表現しましょう。

## 2年生におけるアンケート結果

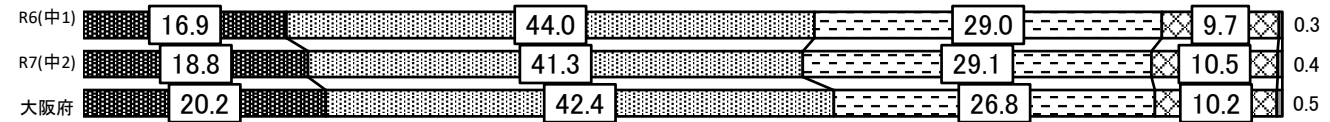
1. 文章や資料などを読むときに、どこが大事なところかを考えながら読んでいる。(%)



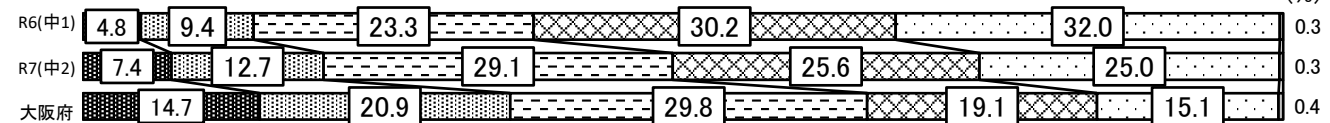
2. わからないことや知りたいことがあったとき、図書館資料やインターネットなどで調べている。(%)



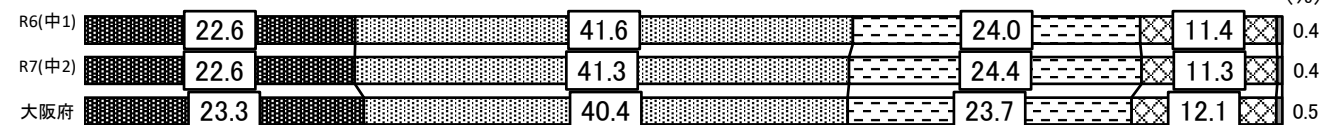
3. 授業中、思考ツールを使うなどして、自分の考えを整理したりまとめたりする場面がある。(%)



4. 授業中、PC・タブレットを使って、学級の友だちと意見を交換する場面はどれくらいありますか。(%)



5. 家で、自分の苦手なところ、必要なところを考えて勉強している。(%)



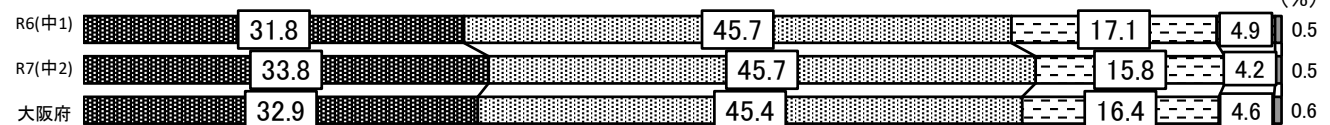
6. あなたの学級は、違った考えや意見を受け入れる雰囲気がある。(%)



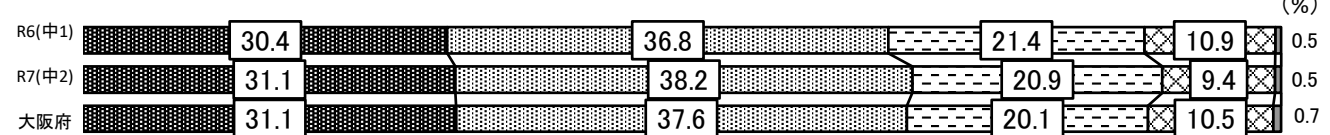
7. 学校などで、他の人と協力し合うことができる。(%)



8. 難しいことがあっても、あきらめない。(%)



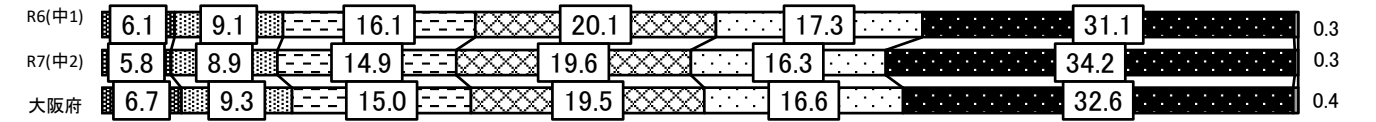
9. テレビや新聞、インターネットで社会的な出来事に関するニュースを見ている。(%)



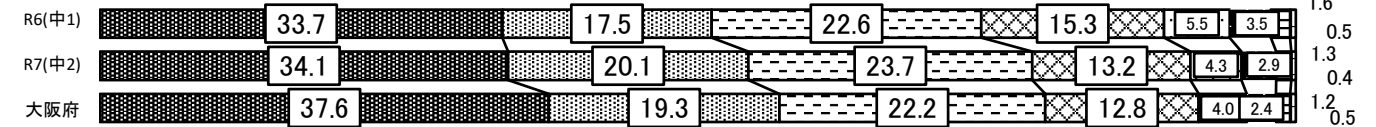
1~3、5~9 ■当てはまる □どちらかといえば、当てはまる □どちらかといえば、当てはまらない □当てはまらない □その他・無回答  
4 ■ほぼ毎日 □週3回以上 □週1回以上 □月1回以上 □月1回より少ない ■その他・無回答

■今回お知らせする調査結果は、学力や学習状況の一部分であり、子どもたちの学力や学習状況、学校の教育活動などのすべてを表すものではありません。

10. 普段(月曜日から日曜日)、1日平均どれくらいの時間、本(教科書は除く)を読みますか。(%)

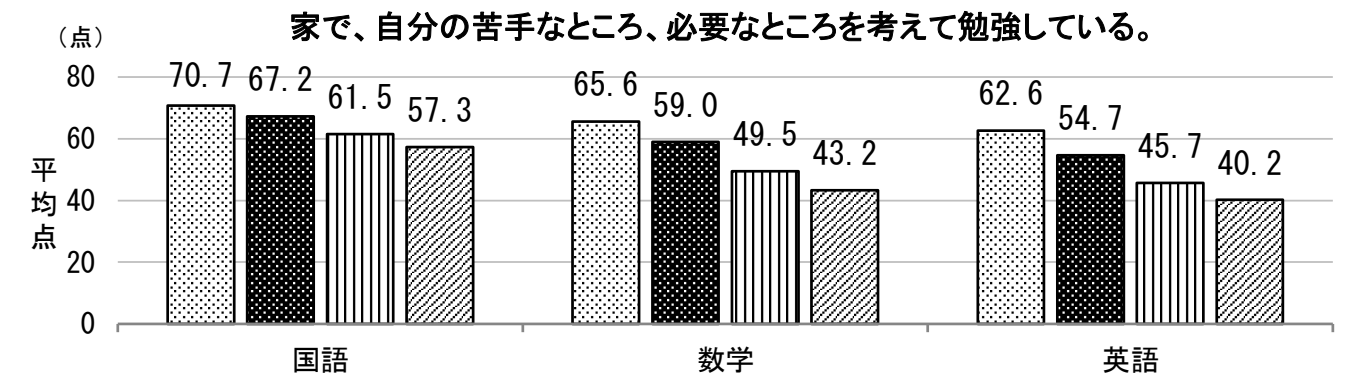


11. 普段(月曜日から日曜日)、1日平均どれくらいの時間、学習以外(ゲームやSNSなど)にスマートフォンやタブレットを使っていますか。(%)



10 ■2時間以上 □1時間以上、2時間より少ない □30分以上、1時間より少ない □10分以上、30分より少ない □10分より少ない ■全くない □その他・無回答  
11 ■4時間以上 □3時間以上、4時間より少ない □2時間以上、3時間より少ない □1時間以上、2時間より少ない □30分以上、1時間より少ない ■30分より少ない □スマートフォンやタブレットを持っていない □その他・無回答

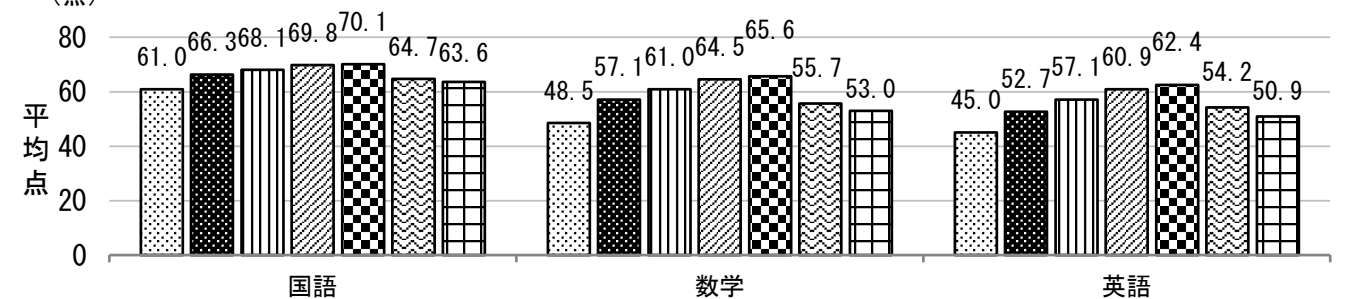
## 教科の平均点と生徒アンケートのクロス集計結果



□1 当てはまる ■2 どちらかといえば、当てはまる □3 どちらかといえば、当てはまらない □4 当てはまらない

家で、自分の苦手なところ、必要なところを考えて勉強している生徒の方が、教科の平均点が高い傾向が見られます。

普段(月曜日から日曜日)、1日平均どれくらいの時間、学習以外(ゲームやSNSなど)にスマートフォンやタブレットを使っていますか。



□1 4時間以上 ■2 3時間以上、4時間より少ない  
□3 2時間以上、3時間より少ない □4 1時間以上、2時間より少ない  
□5 30分以上、1時間より少ない □6 30分より少ない  
□7 スマートフォンやタブレットを持っていない

「30分以上、1時間より少ない」と回答している生徒の教科の平均点が、最も高い傾向が見られます。

■本調査の結果とともに学習に役立つ情報については、大阪府教育庁 市町村教育室 小中学校課のWebページにおいてもお知らせしていますので、ご活用ください。  
<https://www.pref.osaka.lg.jp/o180080/shochugakko/challenge/index.html>